



エスコープ大阪機関紙

C o n t e n t s

表紙

・エネルギー自治への共感の輪をひろげる!

P3

・活動報告 子育てひろば／環境企画／針江親子ツアー
・組合員紹介 ・職員紹介

P2

・生活クラブは、気候危機対策に全力で取り組んでいます!

P4

・次世代生産者紹介
「針江げんき米栽培グループ」
・理事会報告
・おたよりネット ・編集後記

エネルギー自治への 共感の輪をひろげる!

今年5月に「グリーントランスフォーメーション(以下GX)推進法」、「GX脱炭素電源法」が可決され、日本のエネルギー政策は原発回帰に舵が切られました。これに対し、私たち生活クラブは12月1日までに10万筆の署名を集め、脱原発、脱炭素で持続可能な再生可能エネルギーへの転換の加速を政府に対して求めます。

この政策提案運動の内容やアクションを検討した「エネルギー政策提案実行委員会」の実行委員長で、生活クラブ神奈川副理事長の佐野めぐみさんに今秋の生活クラブ神奈川の取り組みについてお聞きます。

(聞き手:環境担当常務理事 山路 登葉)



生活クラブ神奈川
副理事長

佐野めぐみさん

署名活動は 「共感を得る道具」と 捉える

山路 今秋、エスコープ大阪でも署名活動に取り組みますが、生活クラブ神奈川ではどのような動きをされますか。

佐野 生活クラブ神奈川とは別法人格を持つ5つの地域生協との連帯からなりますが、今年は「食とエネルギーの自給圏をひろげる」を全体の重点にすることを総代会で決定しました。「地域の組合員が主役」であることを大切にしながら、それぞれの地域生協が自立してこれまでも活動を組み立ててきました。

今回の署名活動では、各地域で開催する祭りや生協企画と、生活クラブ神奈川全体で22あるデポ(店舗)の場を利用して対面活動を強めて2万筆の署名を集める計画です。デポでは署名を呼びかけるだけでなく、店頭で「電気の相談会」も実施します。対象はデポ組合員だけでなく、個配組合員もデポに足を運べば電気の相談ができるようにしました。

山路 生活クラブ神奈川の提起がきっかけで、今の生活クラブでんきがあります。

佐野 福島第一原子力発電所事故より以前からチェルノブイリ原発事故や生活クラブ北海道での動きから、生活クラブ神奈川でも原発ではない電力確保でのCO₂削減をめざして、首都圏4単協(東京・神奈川・埼玉・千葉)で協力して、秋田県に風力発電「夢風(ゆめかぜ)」を建設することをたくさんの方の組合員議論を経て決議しました。今回の署名活動では、単なる「目標筆数を達成する活動」で終わらず、署名を呼びかけると同時に、エネルギー自治の実現に共感する人を増やし、「生活クラブでんき」を選ぶ人を増やしたいと考えています。

「誰にでも わかりやすいこと」を 考えるきっかけに

山路 9月に生活クラブ連合会での「デシマーク・ドイツ視察」に参加されましたが、印象に残ったことなど教えてください。

佐野 公的サービスの必要性を市民に分かりやすく伝えて、市民が主体的に参加できる環境を作っている点が参考になりました。たとえばドイツではごみの分別を徹底していますが、環境教育として子ども達に分別したごみがコンポストで分解されていく様子を実際に見せて、ごみを分別する重要性を目で見える形で分かりやすく伝えていきます。それを見た子ども達も、自分が理解したことを家庭で伝え、ごみ分別の

大切さを広めています。子どもはとも影響力のある存在です。

山路 子どもも理解して実践できるように工夫して伝えていくんですね。

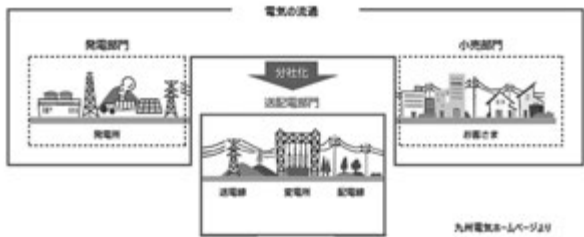
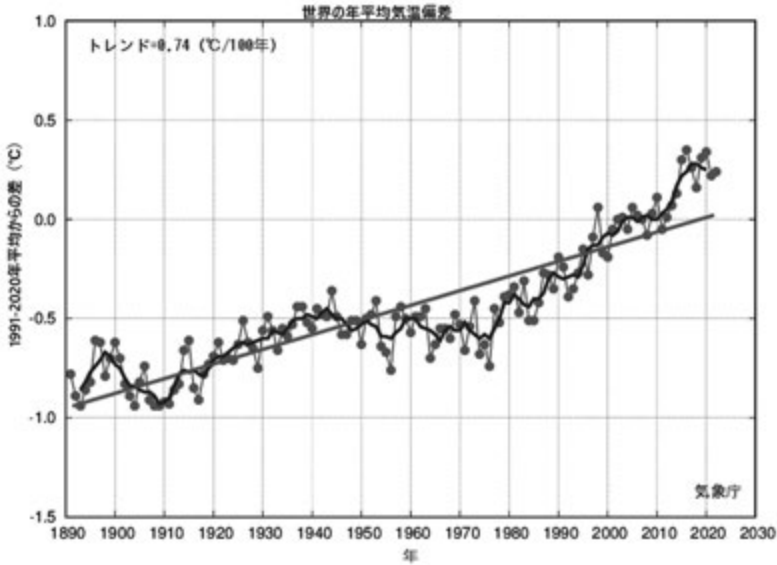
佐野 「分かってはいる人しか分かっていない」という状況では、社会は変わっていきません。今年の夏の猛烈な暑さを誰もが自分の体で感じている今、「こんなに暑い夏を子どもや孫の世代に引き継ぎますか?」というわかりやすい問いかけを、周りの人にできる良い機会だと考えています。「脱炭素」や「再生可能エネルギー」を押しつけるのではなく、ありません。気候危機やエネルギー自治についてこれまで考えることすらしてこなかった周囲の人々に問いかけて「自分事として考えるきっかけ」を作り、より多くの共感者を増やしていくことを今回の署名活動で大切にしていきます。これまでに実施した街頭での署名活動でも、若いお母さんや中学生達に声をかけて「どう思う?」と分かりやすい言葉で問いかけることで、一人一人が立ち止まって考える機会を作り、賛同が得られたこともありました。

山路 エスコープ大阪でも、署名を呼びかけます。分かりやすい問いかけや伝え方を心がけて共感する組合員の声を集め、エネルギー政策の見直しを国に訴え、「生活クラブでんき」への切り替えも同時に呼びかけます。

生活クラブは、気候危機対策に 全力で取り組んでいます！

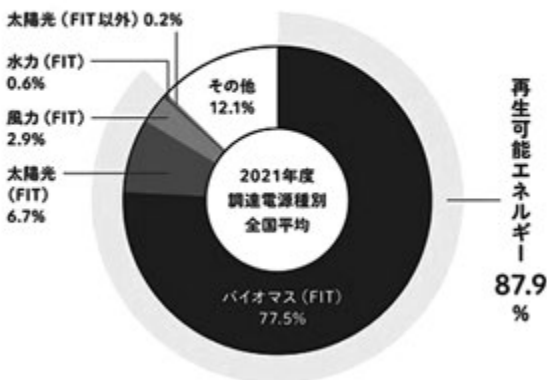
日本のエネルギー政策と 電力システム改革の問題点

2016年の電力自由化後、日本の電気事業において、大手電力会社（旧一般電気事業者）は自社の供給分を満たすための発電をしています。老朽化した設備を維持するために採算が取れなくなった石油や石炭の火力発電を減らしているのに、電力量が不足するということが起きています。絶対的に電力が足りないわけではなく、大手電力会社が発電量を調整しているために起きた電力不足です。これは電力市場の構造的な問題であり、国の電力システム改革の失敗でありコントロールミスです。国は、この問題をまず解決し、卸売電力市場の安定化



また、発電と小売りを分離していないため、電力自由化の原則である送配電部門の中立性や公平性を損なう事態も発生しています。昨年大手電力会社によるカルテルの摘発がありました。が、日本の発送電分離は「法的分離」であって大手電力会社の分社化に過ぎません。破綻している電力システム改革を国は放棄して旧電力会社の独占に回帰するのか、送配線の所有権分離を始めとした改革を実現するのか、日本のエネルギー政策転換は大きな岐路に差し掛かっています。

生活クラブでんきの電源は 8割以上が再生可能エネルギー！



生活クラブの「私たちが 取り組む5つの実践」

世界の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えるために、真剣に取り組まなければならない今、私たちにできることはなんだろうか？「気候危機対策は未来のために社会をアップデートすること」とポジティブにとらえて、生活クラブは「私たちが取り組む5つの実践」を掲げています。

実践1 生協事業から排出する二酸化炭素を2025年には限りなくゼロにすることを目指し、「2030年CO₂排出40%削減目標」を前倒しして実現します。

実践2 SDGs達成に貢献する「第一次生活クラブ2030行動宣言」を着実に実行し、2022年にはプラスチック削減対策等を含む第二次行動宣言にステップアップします。

実践3 生協事業の柱である「持続可能な生産と消費

費」を確実に継続するため、対等な関係にある生産者と共に気候危機への「適応」に率先して取り組みます。

実践4 気候危機を回避するための再生可能エネルギーの意義を内外に広め、再生可能エネルギー電源構成割合が6割に及び「生活クラブでんき」を利用する組合員仲間を増やします。

実践5 志をおなじくする個人・団体と連携し、日本政府に対して、2030年の温室効果ガス排出削減目標の引き上げなどを働きかけます。

全国に60カ所以上ある「生活クラブでんき」のエネルギーの産地は、食べものの産地でもある場合が多く、産地や生産者ともつながりがある電気を組合員に供給しています。脱原発・脱炭素社会に向けて私たち一人ひとりが今の自分の生活を見直し、次世代が生活する環境にも配慮して、「生活クラブでんき」に切り替える（スイッチングする）ことをすすめています。

国内自給！全国66ヶ所の発電所

現在は87.9%が再生可能エネルギー。2030年までに100%をめざします！



堺市街地地域委員会

子育てひろば

9月8日(金)
新金岡東校区地域会館
(堺市北区)

堺市街地地域理事
吉田 真菜

人がつながる子育てひろば！



ビーグッツのことなど気軽な情報交換の場となっています。子育てで気になっていたり、悩みや解決の糸口が見つかるかもしれません。母親が自分の生まれ育った地域で結婚、出産を経て子育てをする割合は3割、7割はその地域以外の「アウェイ育児」だそうです。

組合員も組合員でない方も予約なしで参加できるエスコープ大阪の「子育てひろば」は、主に小さなお子さんとその兄弟姉妹が保護者と一緒に参加しています。お子さんは子育てサポーターに見守られて、室内で安全にのびのび遊び、お母さんたちはほっとひと息リラックスしておしゃべりできる空間です。堺市街地地域は地域エリアが広いので、奇数月に北区の新金岡東校区地域会館、偶数月に西区の大東自治会館で開催しています。今年度は平日に開催し、1〜3家族が参加しています。

堺市街地地域では7月に新しい子育てサポーターが2名誕生し、一緒に活動していけたらと期待しています。「子育てひろば」は、保育所やベ

「子育てひろば」は、友だちの家に遊びに行くように気軽に参加できる場所です。途中参加OK、出入りも自由です。これからたくさんの子育て中の方が参加し、お互いの子どもの成長を喜び合える楽しい「ひろば」になるよう地域委員会で活動できればと思います。

消費委員会・福祉委員会

針江親子ツアー

8月5日(土)〜7日(月)
針江げんき米栽培グループ生産地
(滋賀県高島市新旭町)

消費担当理事 沼田 典子



親子で貴重な体験を共有してきました

者に熱心に聞き取りをし、針江地区の自然や生活の様子、米作りの大変さ、針江での水の取り組みなどたくさん情報をレポートにしていきました。子どもたちも生産者とのふれあいの中で自然の良さや米作り(農業)の知識やお

昨年度まで夏休みを利用して、組合員の子どもたちだけで『針江げんき米』の生産地を訪れる企画をおこなってきましたが、今年は親子での参加として、親子でレポート作りをしました。お母さんたちは生産

もしろさを素直な気持ちで感じ取り、文章や絵に表していました。参加した3家族それぞれ個性のある良いレポートができました。お母さんからは「今回体験したこと

泉州地域委員会

環境企画

7月4日(火)
浪切ホール(岸和田市)

泉州地域委員
高岡 三由輝

環境問題のDVD上映会を通じて交流しました



しかし、自分の町の人が作ったシヨールを買えば、そのお金でわが町の、ある親子がご飯を食べることが出来る。地域で経済を回すことの大切さに気付かされた」「私たちもまた自然の一部として自然とともに生活する生き方は、

昨年度、「環境コミュニティ」活動の中で、遺伝子組み換え食品がどのように世界中に広まっていったかが描かれたDVD、シヴァ博士に焦点を当てた「ヴァンダナ・シヴァの命の種を抱きしめて」を視聴したところ、参加者から「これは、私の友だちにも見てもらいたい!」「組合員かどうか関係なく、見ていただきたい!」という声があり、今年度は泉州地域委員会で上映会を企画し、組合員や組合員の友人にも参加の呼びかけをしました。

上映会では、半分まで見たところでいったん停止し、ここまでの内容についての感想を少人数のグループで述べ合い、最後まで見たあとに各グループ内で出た感想や意見をまとめて、全体で共有しました。参加者からは「大企業が安く売る服を買っても、その利益は町に残らない。

とても活発に意見や感想を話されていて、今回の企画を開催して良かったなと思いました。少し難しい内容でしたが、みんなで視聴することで問題意識を共有しながら学ぶことができたので本当に良い上映会でした。また次の企画も考えていますので、どうぞ楽しみにしててください!」

それが名残惜しそうでした。今回引率し、子育て世代の組合員と寝食を共にしたことで気づいたことや得た情報などがあり、今後の活動に活かしていこうと思えました。消費材の実物を見ながらその良さを話したり、まだ利用してない消費材についての質問に答えたりという機会にもなりました。

お母さん同士、同世代で共通の話題も多く、スマホで写真交換や情報提供をするなど、楽しい交流の場になったようです。子どもたちもすぐに仲良くなつてにぎやかに楽しく過ごし、別

薬屋、魚屋を経て、生協職員へ！



職員さんが自己紹介!!
隠塚 崇弘(32歳)
エスコープ大阪在籍年数6ヵ月
[共同購入フロア 堺支所]

名前の珍しさから出身をよく聞かれますが、福岡県久留米市出身です。久留米市は、ほんごラーメン発祥の地と言われています。また、焼鳥屋の店舗数が多く、お酒を飲まれる方にはうってつけの街です。

入協する以前は、製菓会社の営業を経て、鮮魚の卸売で働いており、異色の職歴だとしばしば言われます。入協のきっかけは、両親が果物屋を営んでおり、青果に魅力を感じ、はたまくお願いします。

エスコープ大阪が大好きだから、地域委員になりました

今から35、6年前、25人班(大型班)をしている隣の家の人から「入りませんか?」と声をかけてもらったのが加入のきっかけだそうです。最初はあまり興味もなく、野菜は虫食いだらけで、なんとなく続けていましたが、びんの牛乳と、一度も冷凍されていない豚肉、「上和田有機米」、みかんの4つの味がとてもおいしくて気に入りました。今ではこの4つがある限り生協はやめられない、食べ続けたい

「エスコープ大阪がなくならないように、協力できることがあればしようと思っています」と、前向きな組合員さんです。聞き手 真柄 恭子(泉北ニュータウン地域理事)

紹介します!!
うちの地域の組合員さんです

高見 雅子さん

[泉北ニュータウン地域]



去年、消費コミュニティに登録し、今年から地域委員として活動されています。以前は消費材がただ欲しかっただけでしたが、生産者のことや、そこからどう届くのかということに関心を持つようになったそうです。

最近、地域委員会や環境委員会に参加されていますが、若い人の参加もあり、エスコープ大阪の将来も安心だとうれしく思われているそうです。



第4回
理事会報告 <9月6日>

【7月度決算報告】

- 供給高 2億3,305万円(前年同月比99.7%)
- 組合員数 18,741名(前月比△32名)
- 一人当たりの出資金 90,579円

【8月の放射能検査結果】

8月は連合消費材490検体、関西消費材4検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【協議事項】

- ①2024年度方針策定の進め方について
- ②担い手づくりの進捗
- ③「よやく・る りんご」取り組みまとめ
- ④「協同の家」の貸し出しと援農募集について
- ⑤エネルギー政策提案運動実行計画
- ⑥4～7月「生活クラブでんき」の契約実績とキャンペーン総括の進め方
- ⑦「ゲノム編集魚を考える市民集会in京都」への参加と賛同
- ⑧11月「原州協同社会経済ネットワーク」受け入れ前の推進者料理学習会
- ⑨大阪市南・中河内地域委員会の地域拠点づくり(居場所づくり)
- ⑩南河内地域委員会の地域拠点づくり(居場所づくり)
- ⑪「梅谷味噌醤油(株)」の手作りみその価格改定

【報告承認事項】

- ①2023年度生活クラブ関西6生協の畜産生産者訪問交流



次世代生産者紹介

いっしょに創る未来

滋賀県高島市新旭町

針江げんき米栽培グループ 石津 大輔さん



用油を使つたせっけん作りやBDF(廃食用油を原料に精製されるディーゼルエンジン用燃料)の取り組みもおこなっています。

ただ、このところの気候変動は異常です。農業者の技術や努力、品種だけではどうしようもできません。さらに、今、切実に感じているのが農地の所有の問題です。私が米を作っている田んぼの9割は、離農された地域の方から預かって耕しています。今後、高齢化や地域を離れるなどで田んぼを所有する方との距離が生じてしまい、知らない間に田を売買されてしまふと、耕作できなくなってしまう可能性があります。しかし、悲愴にならず、楽しく農業をしていきたいと思っています。

SDGsを謳ってパーフェクトフードなどの研究もされていますが、それがすすんだ先には農家の姿はありません。おいしいを味わい、日々の生活を楽しく農業を続けていくためにも、地域を魅力あるものとし、次世代に「農業は魅力あるもの」と伝えていきたいと思っています。

私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

当時盛んにおこなわれていた農業の空中散布に反対し、農薬を減らす取り組みをすすめるため、1990年に父や地域の先輩方が「針江有機米栽培グループ」を立ち上げました。以来、エスコープ大阪とは35年ほど産直関係が続けています。針江地区は日本の原風景とも言われ、湧き水の川端(かばた)を活用した生活をしています。水を大事にしており、地区として廃油を琵琶湖に流さないように廃食用油を使つたせっけん作りやBDF(廃食用油を原料に精製されるディーゼルエンジン用燃料)の取り組みもおこなっています。

でわからず、その年の収入が読めないで、ジェットコースターのような生活になってしまっています。契約量を納められなかったらペナルティがあるとも聞きます。しかし、生協とは適正な価格を生協と話し合つて決め、計画栽培ができるので、安定した農業ができ、無農薬米の栽培を増やすこともできました。

以前は、「農」は生活の中での生業(生活をするための仕事)であり、文化でしたが、今は産業化に向かつています。そのような時代であっても「農」の本質を大事にし、今の技術も使いながら、可能な限り地域の中でサイクルできるやり方をしていきたいと考えています。農業は自給できませんが、農機具を動かすエネルギーとして廃食用油からBDFを作ることにはできます。

楽しい食卓を囲むとき、そこに自分たちの生産したものがあるのが幸せ

おたよりネット



「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

247号3面「とてもおいしい消費材が魅力！」を読んで

Mさん

平尾さんの思い、私と重なります。私は「エスコープ大阪の消費材を利用していたら、安心な食べ物を食べることができる」という受け身の姿勢になっていました。しかし、「エスチャンネル」に参加し、地域委員として活

動することにより、今まで目がいかなかった分野のことも知ることができ、視野が広がりました。学ぶことが多く、エスコープ大阪の良さを再認識しています。

キトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
249号(2023.10.23)

編集後記

ここ数年、気候変動による影響は自然災害だけでなく、農作物の品質低下や収穫量の減少など食生活にも大きく出ており、気候危機への対処はもう待ったなしの状態となっています。私たち一人ひとりが暮らし方を見直すことも大事ですが、国のエネルギー政策と体制の根底からの見直しが必要です。「脱原発、脱炭素と再生可能エネルギーへのエネルギー転換の加速を求める」署名活動に参加して私たちの思いを届けましょう。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/